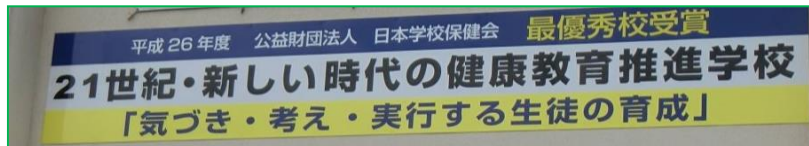


第2分科会



演題：「花陵中が全国最優秀校に！表彰までの軌跡」

講師：千原台高等学校（元熊本市立花陵中学校） 養護教諭 前田 弥生 氏

【講師紹介】

初任で天草郡倉岳町立宮田小学校に養護教諭として7年間勤務し、その後、熊本市立秋津小学校、熊本市立麻生田小学校、熊本市立北部中学校、熊本市立城東小学校、熊本市立花陵中学校の養護教諭として勤務し、現在、熊本市立千原台高等学校に勤務。熊本県立教育センターに国内留学。熊本市優秀教員受賞。熊本市健康功労者賞受賞。

【講演内容】

1 花陵中学校の概要

花陵中学校は、熊本市の南西部に位置し、校区には熊本の玄関口である熊本駅や、熊本市の台所である田崎市場、アクアドームという屋内プールがある。昭和22年に白坪・春日・古町の3つの小学校区のもとに設立され、今年で68年目であり、生徒数は昨年度が437人で、特別支援学級2学級を含む15学級の学校である。



近年は、スクールプライドを合言葉に、職員と生徒が共に協力し、部活動をはじめ、生徒会、各種コンクール、弁論大会、ボランティア活動など多方面で活躍している。

平成25年度に21世紀新しい時代の健康教育推進学校で全国優秀校、平成26年度は中学校では、全国1校だけという最優秀校に選ばれた。

2 花陵中学校の取組

花陵中学校の健康教育は「保健」「食育・給食」「安全」「体育」の4つから成り立っている。

(1) 保健部会

「保健」では、生徒保健委員が中心となり、地域の学校歯科医や西保健センター保健子ども課の歯科関係の方々、校区の8020推進員の皆様方と協力して実施した歯ピカ運動や、基本的な生活習慣の改善に取り組んだ。



また、睡眠について取組んだ地域さわやかネットワーク会議や、全生徒・職員と学校医及び学校薬剤師、学校栄養職員やスクールカウンセラー、地域の方々が参加して行われた学校保健委員会での「質の良い睡眠」についての学び合いも行った。生徒保健委員会が全校生徒にとった睡眠に関するアンケートの結果発表や掲示物発表、保健便り等を通しての基本的な生活習慣についての情報の発信や、文化学習発表会での劇の発表を通して、健康教育のテーマ「気づき・考え・実行できる生徒の育成」を図ってきた。



(2) 食育・給食部会

「食育・給食」では、給食時の学校栄養職員の出前授業の実施や掲示物の充実、毎日の献立についての情報を満載した給食カレンダーを発行した。また、放送委員会によるその内容の校内放送等を通し、生徒に食を通しての健康維持のための情報発信を行い、男女一緒に仲良く会話をしながら食事をすることで、マナーを学びながら、食のおいしさと楽しさを味わせた。



(3) 安全部会

「安全」では、校区の安全マップの作成や、心肺蘇生法の生徒・職員への実技指導を行った。また、毎学期、火災や地震や不審者対応等、形を変えた避難訓練を実施し、生徒や職員の危機管理能力の定着化を図った。

(4) 体育部会

「体育」では、「健やかな心身の育成」のため、学習面と運動面でのメリハリのある取組を心がけた。体育大会の充実では男女が協力した組体操や騎馬戦による体力向上を図り、普段から持久走などの忍耐力が必要とされる運動を体育や部活動の時間に組み込んだ。冬の早朝に行われる20キロの耐寒強歩会などへの積極的な生徒の参加と個に応じた体力づくりの習慣化を目指した。また、外遊びを推奨するため、体育委員が中心となり、ボールや長縄を貸し出し天気の良い日の外運動を放送やクラスで呼びかけ体力の向上を図った。



(5) その他

「豊かな心の育成」の、一つの取組として、学校長が、長期休業中に出来る俳句の募集がある。これは、「自然や季節に、触れ、親しみ、心を落ち着かせる」ことを目的に続けられていた。入選作品は校舎内外に掲示され、心の健康につながるものとなっていた。



他にも、環境は心を育てるという観点から、環境美化活動や、心を磨く朝ボラや挨拶運動・無言掃除を時間一杯励んだ。

また、生徒会執行部が中心となり、月二回、全生徒が袋にゴミを拾いながら登校し、学校で分別するという町ピカ登校を行っている。生徒からは「学校も綺麗な方がいいし、自分たちが通う道路を朝から自分たちの手で綺麗にして登校するのは、見ている人も住んでいる人も、自分達自身も、とても気持ちのよい活動なので、これからもずっと続けていきたいです。」という感想が出ていた。

3 まとめ

花陵中学校は、熊本県の中学校でただ一校だけ花が学校名についている。一年中花が咲き誇る学校を目指し、生徒や職員が、地域の方々の協力もいただきながら畑を耕し花を植えて、一生懸命世話をしている。四季折々の花々や、その花の世話をする人を見て私達の心は日々癒されている。



私が6年前に赴任した頃はトイレにスリッパも置けなかった学校から、今は花いっぱいでも一生懸命に取り組み、生徒・職員・地域が一体となってスクールプライドを高めている。